



## ご あ い さ つ

東村山けやき会後援会  
会長 西村良隆

東村山けやき会後援会会報秋号（第32回地域交流卓球大会特集号）の発行にあたり、ひとことごあいさつを申し上げます。

当会は、社会福祉法人東村山けやき会の社会福祉事業に協力し、そして市民の精神障害福祉に関する理解を深めるための啓発に広く努めると共に、社会復帰をしようとする障害者の努力を及ばずながら支援してまいりました。その象徴的な事業でもある第32回地域交流卓球大会は、今年も成功の裡に終了することができました。

大会は第1回当初から、東村山市、東村山市教育委員会、東村山市社会福祉協議会の後援を賜り、そして、東村山市卓球連盟の絶大なご指導、ご協力のもと、年々充実して開催されております。今年も、「広く関係する地域・施設・団体・ボランティア等々が、大会参加の障害当事者をも含め、実行委員会方式で企画、準備、当日の運営に役割分担し開催した。」このことをご報告できますこと、改めて関係各位に感謝申し上げます。

本大会の開催当初より当後援会会長を長年に亘り務められ、昨年10月24日に享年94歳でご逝去されました熊木令次元市長は、「社会復帰しようとする障害者が、スポーツを通じて地域で交流するこの大会の開催意義は、何ものにも代えがたいものがあり、広く協力の輪を広げ、真摯に末永く取り組んでください。」と常々申されておりました。

改正社会福祉法の「地域における公益的な取組」は、平成28年4月から社会福祉法人において施行と伺っております。故熊木会長が卓球大会に熱い思いを抱いておられたそのお心を改めて受け止めるとき、積み重ねてきたこの地域交流卓球大会は、改正法の主旨のもと公益事業へ位置づけていくのか、また、大会を主催してきた後援会はどうあるべきか、今後、検討していかなければならない課題として、広い観点からご指導いただいてまいりたいと思っております。

会員の皆様をはじめ、関係各位のご理解を賜りたく、ごあいさつとさせていただきます。

# 第 32 回地域交流卓球大会報告

## 第32回地域交流卓球大会の成功を祝して



東村山市卓球連盟 会長 船橋 侑

第32回の地域交流卓球大会が大成功に終わりましたことに対しまして心よりお喜び申し上げます。

さて、熊木後援会会長からは、いつも連盟に対しまして、暖かい感謝の言葉をかけていただきました。40回、50回へとつながっていく大会となりますよう熊木会長の遺志を受け止め、連盟といたしましても、今後も年間の事業計画にしっかりと組み入れ末永く頑張っていく所存でございます。

事故や怪我もなく成功裏に終了できましたが、数回に亘り、実行委員も活発に行われ、その方々を始め、関係者の皆様のご尽力の賜物であります。実行委員会には、病院や施設の職員のみならず、試合に参加する皆様方からも出席していただいております。このことは大変に重要であり、大会に参加する皆様方で作り上げる大会となっており、毎回ただ単に前年度のそのままの形で開催するのではなく、年ごとに少しずつ内容も変えていただいております。この皆様の大会にかける思いが、長年の大会開催の成功に結びついているものと感じております。

本大会は卓球においては、市内最大級の大会「市民体育大会」にも引けを取らない盛大な大会となっております。また、個人戦の決勝戦を始め、決勝トーナメントの試合を拝見しますと、「市民体育大会」に選手として参加してもそんな色ない方々が数多くいらっしゃいます。1年間を通して、練習に励んでいる方も多くいらっしゃると感じております。

幸いにも本市のスポーツセンターは、全国的にも卓球の設備が充実していることで有名で、15台常設の卓球台が整備されております。この恵まれた環境を活かしていただき、是非利用していただくよう切に望むところでございます。

卓球をとおして心身の健康に寄与し、日頃の皆様の仲間づくりや交流にも結び付くことに寄与するように、連盟としても今後も継続し協力していきたいと考えております。本大会に参加していただいた全ての皆様に感謝を申し上げまして、連盟からの言葉といたします。



船橋会長ありがとうございました。



大迫力の模範試合。



## 第 32 回地域交流卓球大会を終えて

東村山けやき会後援会副会長  
第 32 回地域交流卓球大会  
実行委員長 下山 停子

多くの参加者を得て、今大会を開催できました事、心より感謝いたします。

しっかり準備体操をして、東村山市卓球連盟の方々のご指導のもと大会は楽しく無事に終了することができました。

毎年お会いする方、久しぶりにお会いした方、個人的にも大変うれしかったです。

お忙しい折にも拘わらず来賓の渡部東村山市長、肥沼市議会議長、市議会議員の方々等、さらに長時間ご参加くださいました大原東村山市社会福祉協議会会長、誠に有難うございました。

船橋会長をはじめ、東村山市卓球連盟の方々素晴らしいご指導。次回は、より一段上の大会になっていることでしょう。

諸事お手伝い下さった方々に感謝いたします。

来年もよろしく願いいたします。



開会式であいさつの下山実行委員長。



ぼんた君も来たよ。



## 第32回地域交流卓球大会結果報告！！

### 団体の部

優勝 ふれあい+KD チーム  
準優勝 多摩あおぼ チーム  
第3位 けやき第一 チーム



### 個人男子の部

優勝 川口 功 (ふれあいの郷)  
準優勝 吉澤 弘記 (多摩あおぼDC)  
第3位 佐藤 雅治 (三恵病院)

### 個人女子の部

優勝 S. H (ふれあいの郷)  
準優勝 K. H (ふれあいの郷)  
第3位 A. E (多摩あおぼDC)

### ラリー大会

優勝 関根 康弘 (多摩あおぼDC)・大石 太郎 (多摩あおぼOT)  
準優勝 小泉 慎治 (多摩あおぼDC)・菊地 雅敏 (多摩あおぼDC)  
第3位 浦田 健治 (けやき第二)・飯倉 浩一 (三恵病院)  
第3位 S. S (多摩あおぼDC)・K. G (多摩あおぼDC)

<日 時>平成28年6月11日(土)  
午前9時～午後3時  
<会 場>東村山市民スポーツセンター  
<参加総数>約250名  
<主 催>東村山けやき会後援会  
地域交流卓球大会実行委員会  
<後 援>東村山市  
東村山市教育委員会  
東村山市社会福祉協議会  
<協 力>東村山市卓球連盟

<参加団体>  
多摩あおぼ病院  
三恵病院  
平成の里  
地域生活支援センターふれあいの郷  
える・ぼいん  
仲間の家  
NPO けやき第一作業所  
NPO けやき第二作業所  
グループホームむさしのはうす  
グループホームはぎやまはうす  
救護施設さつき荘  
ファミリー



## 参加されたみなさんの感想

Hちゃんを始め、チームメイト・所属クラブの方々に鍛えていただき優勝することができました。来年も元気でV2目指し、ガンバっていきたいと思います。

「ヨロシクお願いいたします。ありがとうございました。」

地域生活支援センター ふれあいの郷 川口（兄）

個人男子の部優勝・団体の部優勝

### 多摩あおば病院 団体の部準優勝

- ・盛り上がって楽しかった！
- ・ピンポンラリーの競い合わない楽しさがあった！！
- ・強い相手に刺激を受けた。もっと練習すれば良かった。
- ・スポーツをしている姿は輝いていた。
- ・初めての参加だったが、とても良い経験になった。

### けやき第一作業所 団体の部第3位

- ・3位でうれしかったです！
- ・けやき第一作業所のメンバーみんなががんばって試合したので楽しくてうれしかったです☆
- ・昼食がおいしかった。
- ・来年はシングルで勝てるように頑張りたい。

### けやき第二作業所



- ・安全に楽しく参加できて良かった。
- ・年々、体がにぶくなってきたので、もっと練習すれば良かった...
- ・ピンポンラリーで3位になれてうれしかった！！

### 三恵病院

- ・参加できて良かった。
- ・お弁当がおいしかった。
- ・卓球連盟の方の模範試合、説明が良かった。
- ・来年もまた出たい！！



## 平成の里

- 1回戦で負けてしまったのがくやしい。
- パンがおいしかった。
- 挑戦し続けることに意味がある。
- チーム平成は一丸となって戦った！！
- 卓球連盟を始め、参加、協力機関へお礼が言いたい。



**私個人としては力を出しきれなかったので、来年こそ！！  
全力で楽しく！！悔いのない良い成績を残したいと願います。**

**える・ぽいん ウォーリー**

## 仲間の家

- とても楽しかったです。毎年、楽しみにしています！
- ふれあいの郷のSさん、Kさんペアが輝いていました。対戦できて良かったです。

## さつき荘

- とても楽しめました。
- 決勝戦の途中での片づけはちょっと...じっくりと観戦したいです！！



## 参加スタッフのみなさんの声

- 普段活気のない方が、軽快な動きをしていた。
- 応援のみの参加でも生き生きされていた。行けたことに意義があったと思う。
- 普段経験することのない体験をすることができ、参加スタッフも良い経験になった。
- ケガや事故も無く、皆さんが楽しんで参加されている様子が見られて良かった。
- 来年の大会に向けて練習をしようという話も出て、利用者の皆さんには、良い刺激になったようです。
- 毎年、参加することに皆で楽しみにしています。練習する機会が少なくて成績に結びつかなかったですが、来年も参加致しますので、よろしくお願いします。
- 歴史の年輪を感じます。スピーディな運営に感心しました。



# 会計報告

## 平成 28 年度第 32 回卓球大会事業決算

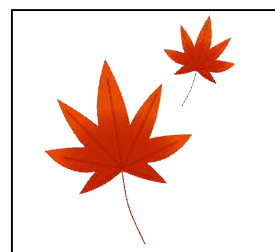
収入	科目	予算額	決算額	差額	備考
	参加費	110,000	94,000	16,000	卓球大会参加費
	お祝い金	0	18,000	△ 18,000	
	法人負担金	132,000	55,110	76,890	後援会賛助会費より
	合計	242,000	167,110	74,890	

支出	科目	予算額	決算額	差額	備考
	消耗品費	10,000	14,461	△ 4,461	ペン他
	報償費	60,000	17,741	42,259	賞状、楯等
	通信運搬費	5,000	5,896	△ 896	郵送料
	印刷製本費	15,000	9,488	5,512	ポスター印刷等
	保険料	1,000	270	730	行事スポーツ保険
	会議費	5,000	0	5,000	会議お菓子代
	弁当費用	145,000	118,692	26,308	参加者弁当代
	雑費	1,000	562	438	振込手数料
	合計	242,000	167,110	74,890	

卓球大会決算については、平成 28 年 8 月 8 日東村山けやき会後援会役員内田雅子推進委員（会計担当）が事務局にて帳簿の点検、実査を行いましたことをご報告申し上げます。



# 東村山けやき会後援会への ご入会・ご協力をお願い



社会福祉法人東村山けやき会は、こころの病を持った方々が地域の中で安心して生活ができるよう相談の場・働く場・生活の場・支援の場を提供しています。

東村山けやき会後援会は、これを援助すると共に、スポーツ活動や講演会活動等を行い、こころの病を抱える方々との交流を通じて、その苦しみを支え、理解を深めて、共に生き、共に暮らせる環境づくりを目指して活動しています。

様々な問題を抱える当事者、ご家族、関りあう地域の方々と、手と手とを取り合って話し合いませんか。

共に生き、共に暮らせる豊かな社会を目指すため、地域の皆様のご理解を願っております。どうか、あたたかい愛の手を宜しくお願いいたします。

賛 助 金		
個 人 1口	2,000円	(年間)以上
団 体 1口	10,000円	(年間)以上
臨時のご協力	ご 芳 志	

【振込先】郵便振替口座

00150-1-543714 東村山けやき会後援会

※ ご入会は随時受け付けております。

皆様のご入会を心からお願い申し上げます。

賛助金は、法人への寄付金とさせていただきます、本会の目的達成に役立ててまいります。

お問い合わせ

後援会事務局（社会福祉法人東村山けやき会内）

TEL 042-397-5966